

備前市事務事業評価表

事務事業名	路線バス維持事業	コード	担当課	企画課 企画振興班
		01-01-12-02	担当者	金光 亨
事業実施期間	平成5年～		電話	0869-64-1871
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	公共交通		
	施策	バス路線網と運行の充実		

事業について	
目的	児童、生徒、高齢者等の交通手段を持たない人が、通勤・通学・通院・買物等のために移動する手段を確保する
対象（誰のために）	交通弱者（児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人）、路線バス運行地域住民
内容	利用者が少ないため、利用料金だけではバス路線の運行を維持できないため、備前地域で運行している日生運輸に営業赤字額の一部を市が補助する

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
年間輸送人員	63,609 人			
補助金額	30,000,000 円			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	30,000	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	7,490	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	37,490	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.70	人			
結果指標①	年間利用人数				
結果指標量	63,609				
単位	人				
対前年比	—		0.00%		
事業費	37,490,000	円			
単位当たりコスト①	589	円			
結果指標②	補助金額				
結果指標量	30,000,000				
単位	円				
対前年比	—		0.00%		
事業費	37,490,000	円			
単位当たりコスト②		円			

事業の成果			
成果指標名	年間利用人数	式又は説明	実績報告による
成果指標量	17年度 63,609		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	65,000	到達目標年度	

(平成17年度事業)

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	路線バスの利用者は減少しているが、市民からは新路線や増便の声も多い。しかし、年々経費が増加していることから、補助金の増額要望がバス事業者からでている。今後は、バス以外の移動手段も視野にいれ、路線や運賃の見直しを図っていく必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	年間利用人数	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	「交通体系検討プロジェクト委員会」を設立し、実態把握のため路線バスへ乗車する	H17・18年度	実際に乗車しての人数把握をし、人数に合った車両や他の方法が考えられる。
有効性	「交通体系検討プロジェクト委員会」を設立し、実態把握のため路線バスへ乗車する	H17・18年度	実際に乗車しての意見聴取をし、乗車目的などが把握でき、路線の時刻の見直しに役立つ。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と結果指標とを留意しながら有効性の評価を行って下さい。